

●温泉や景観 魅力多彩

宮崎自動車道・田野インターから県道日南―高岡線で約三十分。北郷町営「蜂の巣公園」は交通の便もよく、レクリエーション、スポーツ、キャンプを楽しむ人たちの人気を呼んでいる。

「わにか県立公園」内にあつて、鰐塚山系に源を発する広渡川が、花立山のふもとで、約一キロにわたつて北に湾曲したところに立地。広さ五ヘクタール。遊歩道から花立山の奇岩を見上げることができ、その光景は水墨画を思わせる。公園内を流れる清流は夏でも冷たく、川釣り、カヌー下りが楽しめる。

自然豊かで、動植物も豊富。散策コースでは四季を通して楽しみ方もいろいろ。春はワラビ、ゼンマイ、ウド、タラの芽など山菜採取。さらに町が進める日本一の桜の町を目指した「チェリータウン」事業で、花立山に約一萬本の桜が植えられ、花が山を埋めつくす光景は眼下に北

郷の町、日南市街地、太平洋を望む景観とあいまって素晴らしい。夏は子供たちの昆虫採集に最適。

同公園は一九六四（昭和三十九）年、キャンプ場としてオープンした。それまで国鉄志布志線（現JR日南線）は北郷止まりだったが、前年の六三（同三十八）年、南宮崎―北郷間が開通、南那珂地方の産業・経済界に大きな刺激を与えた。

交通の便がよくなったのを機に、環境に恵まれた蜂の巣を売り出そうと設置されたのがキャンプ場。「観光拠点と青少年の健全な心身育成の場」とするのが目的。その後、七七（同五十二）年度に第二次林業構造改善事業の森林総合利用促進事業として新たにキャンプ場を増設、「かじかの里」と名付けた。

現在は、アウトドア派や家族客などのニーズ



動植物も豊富な蜂の巣公園。アウトドア派には魅力がいっぱい

に対応。「かじかの里」のところに露天温泉付きコテージ（総木造二階建て）にしたほか、子供の遊び場「わんぱくとりで」にコンビネーション遊具施設、トリム施設、バスケットコート、ローラースケート場、ナイター設備を備えたテニスコートなどを設置。幅広い年代層を引きつける多彩な内容を誇っている。

このほか、同町内にはコテージやゴルフ場を備えた北郷フェニックスリゾートホテルをはじめ、宿泊もできる温泉施設が数カ所ある。一日七百―八百トンと湯量も豊富。リウマチ性疾患、更年期障害、肥満症などに効能があり、蜂の巣公園で遊んで、温泉で疲れを癒やす。そんな組み合わせも人気がある。

長友禎治